

安全情報(海外)

2011 年 7 月 26 日

非血縁者間末梢血幹細胞採取認定施設
採取責任医師 各位

財団法人 骨髄移植推進財団
理事長 正 岡 徹

UR-PBSCT 提供者死亡事例(ブラジル)

2011 年 7 月 5 日ブラジルにおいて、末梢血幹細胞提供中のボランティアドナーに医療事故が発生し死亡したとの情報が日本造血細胞移植学会から当財団に提供されました。

本事例に関する情報は以下のとおりです。

本邦においては、非血縁者間末梢血幹細胞提供者(以下、提供者という。)に対する内頸静脈へのアクセスは禁止されており、かつ、上肢へのアクセスが可能であることをドナー適格性判定基準としております。

従いまして、今回ブラジルで発生した同様の事例は発生しないと想定しておりますが、上肢へのアクセスが採取当日不可能となった場合においては、大腿静脈へのアクセスのみを認めており、手技上誤って大腿動脈を損傷したり、鼠径靱帯を越えて大腿静脈を刺入した場合に後腹膜腔出血を合併するなどの可能性が否定できないことから、提供者に安全性向上のために本情報を提供することといたします。

なお、今後本事例に関しまして新たな情報が得られましたら、改めて情報提供させていただきます。

◎情報

- ・提供者 : 21 歳 女性
- ・末梢血幹細胞採取のため、内頸静脈へカテーテルを挿入した際、カテーテルが血管を突き抜けて肺内に出血をきたし、出血死に至った。

以上

財団法人骨髄移植推進財団

ドナーコーディネート部 折原・高麗・戸田
TEL 03-5280-2200 / FAX 03-5283-5629